

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月14日
【四半期会計期間】	第162期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	北陸瓦斯株式会社
【英訳名】	HOKURIKU GAS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 敦井 榮一
【本店の所在の場所】	新潟市中央区東大通一丁目2番23号 北陸ビル内
【電話番号】	025(245)2211(代表)
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 上村 健介
【最寄りの連絡場所】	新潟市中央区東大通一丁目2番23号 北陸ビル内
【電話番号】	025(245)2211(代表)
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 上村 健介
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第161期 第3四半期連結 累計期間	第162期 第3四半期連結 累計期間	第161期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	30,091,511	32,525,100	46,628,873
経常利益(千円)	120,069	338,585	2,493,892
四半期(当期)純利益(千円)	25,871	172,745	1,397,436
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	86,281	189,247	1,551,340
純資産額(千円)	39,709,133	41,186,727	41,346,583
総資産額(千円)	55,495,344	56,397,631	58,097,659
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	0.54	3.60	29.14
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	67.7	69.0	67.3

回次	第161期 第3四半期連結 会計期間	第162期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	5.49	3.80

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社、当社の子会社及び関連会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月～12月）の売上高につきましては、夏場の高気温による冷房需要及び冬場に入り気温が低めに推移していることによる給湯・暖房需要の伸びからガス販売量が増加したこと、原料費調整制度に基づくガス料金単価の調整があったこと、及び連結子会社における土木、管工事等が増加したことから、前年同期に比べ24億33百万円増加の325億25百万円となりました。

一方、営業費用につきましては、LNG価格の上昇により原料費が増加したことなどから、税制改正に伴う減価償却費の減少があったものの、前年同期に比べ22億9百万円増加の323億53百万円となりました。

この結果、前年同期に比べ営業利益は2億24百万円増加の1億71百万円、経常利益は2億18百万円増加の3億38百万円、四半期純利益は1億46百万円増加の1億72百万円となりました。

なお、当社グループの連結業績は、季節的変動の著しいガス事業の占めるウエイトが高いため、ガスの需要期である冬期を中心に春先にかけて、売上及び利益が多く計上されます。

セグメントの業績は次のとおりであります。

下記のセグメント別売上高及びセグメント利益又はセグメント損失には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでおります。

<都市ガス>

ガス販売量は前年同期と比べ1.6%増の248,697千m³となりました。用途別においては、家庭用ガス販売量で冬場に入り気温が低めに推移していることによる給湯・暖房需要の伸びがあったものの、夏場の高気温の影響により給湯需要が減少したことから前年同期に比べ1.1%減の104,777千m³、業務用（商業用、工業用、その他用）ガス販売量では夏場の高気温による冷房需要の増加及び冬場に入ってから暖房需要の伸びから、前年同期に比べ3.6%増の143,920千m³となりました。

これにより、都市ガス事業（付随する受注工事及び器具販売を含む）の売上高は、前年同期に比べ16億67百万円増加の291億62百万円、セグメント損失は1億20百万円（前年同期はセグメント損失2億73百万円）となりました。

<その他>

その他の事業の売上高は前年同期に比べ10億8百万円増加の59億97百万円、セグメント利益は57百万円増加の2億71百万円となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

特記事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	96,000,000
計	96,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	48,000,000	48,000,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は1,000株であります。
計	48,000,000	48,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	48,000	-	2,400,000	-	21,043

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 49,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 47,737,000	47,737	-
単元未満株式	普通株式 214,000	-	-
発行済株式総数	48,000,000	-	-
総株主の議決権	-	47,737	-

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
北陸瓦斯株式会社	新潟市中央区東大通一丁目2番23号	49,000	-	49,000	0.10
計	-	49,000	-	49,000	0.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）及び「ガス事業会計規則」（昭和29年通商産業省令第15号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	6,141,387	5,831,867
供給設備	29,228,750	29,009,821
業務設備	1,196,172	1,192,337
その他の設備	945,357	927,145
建設仮勘定	575,606	770,123
有形固定資産合計	38,087,274	37,731,295
無形固定資産		
のれん	1,638,567	1,568,343
その他無形固定資産	388,602	524,561
無形固定資産合計	2,027,170	2,092,905
投資その他の資産		
投資有価証券	2,981,719	3,237,896
繰延税金資産	456,621	450,215
その他投資	1,009,760	947,616
貸倒引当金	26,492	18,315
投資その他の資産合計	4,421,609	4,617,412
固定資産合計	44,536,054	44,441,613
流動資産		
現金及び預金	4,888,407	3,551,197
受取手形及び売掛金	2 4,687,435	2 5,301,582
有価証券	1,339,999	709,832
繰延税金資産	348,013	375,579
その他流動資産	761,593	1,004,667
貸倒引当金	30,160	27,671
流動資産合計	11,995,287	10,915,188
繰延資産		
開発費	1,566,317	1,040,829
繰延資産合計	1,566,317	1,040,829
資産合計	58,097,659	56,397,631

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	5,430,837	4,590,140
繰延税金負債	291,929	271,757
退職給付引当金	399,808	428,816
役員退職慰労引当金	500,101	529,336
ガスホルダー修繕引当金	1,023,418	1,026,849
その他固定負債	304,937	289,287
固定負債合計	7,951,032	7,136,186
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	1,324,268	1,250,847
支払手形及び買掛金	3,278,877	3,554,462
短期借入金	-	155,000
未払法人税等	973,489	54,953
役員賞与引当金	16,687	-
その他流動負債	3,206,720	3,059,454
流動負債合計	8,800,043	8,074,717
負債合計	16,751,075	15,210,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,400,000	2,400,000
資本剰余金	21,043	21,043
利益剰余金	36,030,141	35,867,233
自己株式	15,198	15,198
株主資本合計	38,435,986	38,273,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	675,683	630,395
その他の包括利益累計額合計	675,683	630,395
少数株主持分	2,234,914	2,283,254
純資産合計	41,346,583	41,186,727
負債純資産合計	58,097,659	56,397,631

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	30,091,511	32,525,100
売上原価	18,646,510	20,692,545
売上総利益	11,445,001	11,832,554
供給販売費及び一般管理費		
供給販売費	9,378,527	9,391,286
一般管理費	2,119,511	2,269,796
供給販売費及び一般管理費合計	11,498,039	11,661,082
営業利益又は営業損失()	53,038	171,471
営業外収益		
受取利息	8,568	9,577
受取配当金	43,121	41,626
受取賃貸料	46,319	60,401
その他	157,226	142,241
営業外収益合計	255,236	253,847
営業外費用		
支払利息	78,842	65,880
その他	3,285	20,852
営業外費用合計	82,128	86,733
経常利益	120,069	338,585
税金等調整前四半期純利益	120,069	338,585
法人税等	62,899	104,112
少数株主損益調整前四半期純利益	57,170	234,472
少数株主利益	31,299	61,727
四半期純利益	25,871	172,745

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	57,170	234,472
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	143,451	45,225
その他の包括利益合計	143,451	45,225
四半期包括利益	86,281	189,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,208	127,457
少数株主に係る四半期包括利益	30,927	61,789

【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ55,387千円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

関東信越ガス事業協同組合の独立行政法人中小企業基盤整備機構からの高度化資金借入に対する連結子会社の債務保証の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
保証債務	130,491千円	124,947千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	22,210千円	64,700千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

当社グループの連結業績は、季節的変動の著しいガス事業の占めるウェイトが高いため、ガスの需要期である冬期を中心に春先にかけて売上高が多く計上されます。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	4,327,658千円	4,066,112千円
のれんの償却額	70,224	70,224
負ののれんの償却額	38,714	38,714

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	335,675	7.0	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	335,653	7.0	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	都市ガス				
売上高	27,495,370	4,988,728	32,484,099	2,392,587	30,091,511
セグメント利益又はセ グメント損失()	273,087	213,359	59,728	6,690	53,038

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LPG事業、ガス設備の保全・設計・施工事業、住宅設備機器の販売・施工事業、土木・管工事事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額6,690千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	都市ガス				
売上高	29,162,439	5,997,411	35,159,850	2,634,750	32,525,100
セグメント利益又はセ グメント損失()	120,900	271,111	150,210	21,261	171,471

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LPG事業、ガス設備の保全・設計・施工事業、住宅設備機器の販売・施工事業、土木・管工事事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額21,261千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	0円54銭	3円60銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	25,871	172,745
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	25,871	172,745
普通株式の期中平均株式数(千株)	47,952	47,950

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月13日

北陸瓦斯株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野本 直樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 清水 栄一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北陸瓦斯株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北陸瓦斯株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。